

かまた礼二の **議会だより**

第8号



2011年 9月 1日発行

発行者

塩竈市議会議員 鎌田礼二

〒985-0077 塩竈市梅の宮 1-26

・TEL & FAX 022-365-9626

・mail kamata02@c-marinet.ne.jp

震災の復旧復興にあらゆる努力を尽くします

3月11に発生した東日本大震災で被害を受けました皆様にご心よりお見舞いを申し上げます。

塩竈市についても海岸線付近を中心にかなり甚大な被害をうけました。私は、塩竈市の復旧復興にあらゆる努力を尽くす所存です。

私がこの震災後の活動については、市議会議員としての仕事は勿論のことですが、私の議会だより第7号に掲載させていただいた通りです。

改めて活動を報告させていただきます。

毎日避難所を回り、塩竈災害対策本部会議に

震災後毎日、避難所を回り塩竈市災害対策本部会議に出席し、避難所での様子や被災者の声、そして管理者の意見等をお聞きし塩竈市災害対策本部へと情報の提供と仲立ちをさせていただきました。

現在は、週3回(月・水・金)開催されており、今も継続して出席させていただいております。

道場をボランティアの拠点として開放

私の少林寺拳法の道場を開放し、全国からのボランティアを受け入れています。4月より全国の少林寺拳法関係者が私の所に宿泊し近隣でボランティア活動を展開しております。

このボランティアは、被災者の住宅の泥出し・片付け・ガレキ撤去・側溝清掃や引っ越しの手伝い他、仮設住宅でのお世話等と広範囲にわたります。また、避難所での炊き出しや仮設住宅での理容、万古焼の食器・風鈴の配布等もありました。

現在は、泥出しやガレキ片付け等の作業は減り、理容やマッサージ、仮設住宅入居者への心のケア等に變化し少なくとも今年いっぱいには必要とされるものと思います。

私はこんなことをしたいと思います

今回の大震災の復旧復興にあらゆる努力を尽くすことは勿論のこと次の様なことを活動して行きます。

6月定例議会で



今後も定例議会で毎回質問に

2007年に当選し、6月定例議会より一般質問も14回目となりました。特に2008年の12月定例議会からは毎回連続で質問をさせていただいており、今後も行政へ市民の意見を伝えて行きたいと思っております。

『かまた礼二の議会だより』発行も 第8号に

『かまた礼二の議会だより』は、半年に1回の割合で発行しており、今回は増刊号として第8号を発行しました。市内北部を中心に自ら一軒一軒歩き自分の手で配布をしております。今後も市民の皆様からいただいたご意見やご要望を一般質問として、または市当局へ要望してきました。

毎年、『かまた礼二の議会報告会』を開催

初当選した2007年より毎年『かまた礼二の議会報告会』を開催し、昨年11月に開催した報告会で4回目となりました。今後も継続し、一年間の活動と今後について支援者の方々にご報告させていただき、また参加いただいた皆様からのご意見をお聞きする場にします。

ホームページとブログを開設

少しでも多くの市民の皆さんから声を寄せていただくため、私の活動を理解していただくためにホームページとブログを開設しております。

◎ホームページ『かまた礼二市議会議員』

◎ブログ『鎌田礼二の議員日記』

いずれも「鎌田礼二」で検索いただければすぐにご覧になれます。ご意見や提言、コメント等をお願いいたします。

8月20日 この日は三重県の方々を中心に20名以上の方々に塩竈・多賀城と七ヶ浜で活動



ただければ幸いです。

段の活動を良く見てくれている方々の方です。

リーフレット掲載内容

今回の選挙に向けリーフレットの内容を掲載。

- ①市議会議員として1期目を一生懸命頑張らせていただきました。2期目についてもサラリーマン時代の経験を活かし、市民の気持ちを忘れることなく市民の目線で市政に伝え実行します。
- ②PTA・保護司・少林寺拳法での経験を活かし、次世代を担う青少年の育成に力を入れます。礼節や父母への思いやり、挫折することのない心(魂)を育てる教育に力を入れます。
- ③福祉の充実、塩竈の活性化に力を入れると共に、スポーツの振興を図り、青少年はもちろんのこと高齢者への普及を実現します。元気な高齢者をつくり、高齢者の活動の場を広げます。
今までの概念にとらわれることなく、皆様の手足となり働きますので、皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私に寄せられた手紙・メール

最近、私に寄せられた手紙とメールをご紹介します。

自称・伊達直人より

先週こんな手紙が私の所に届きました。私の普

- ①議会で市立病院・国保税を市民の目線で質問(必ずFM放送を聞いています)、飽きずに連続して質問することが大切。
- ②議会だよりを作り自ら配りながら市民の声を聞いている地道な積み重ねが大切、このような議員は他にはない。(感心しています)
- ③かけ持ちの、往復2回の避難所めぐり(行動力が大切)、一中で会いました。
- ④少林寺拳法の仲間のお手伝い(色んな面でのお世話役ご苦労様でした)、ありがたいことです。

以上諸々のことで鎌田さんを再度議会に送り出すべく努力しています狭い市で目に見えない地縁・血縁の網の目が張りめぐっていて驚いています。しかし一票一票の積み重ねが議会の道です。鎌田さんも頑張っていると思います。再度議会へ市民の代表として必ず行きましょう。

「鎌田礼二」を市議会に送り出す勝手連
自称・伊達直人より

私たちのボランティア活動が実現したのは
鎌田さんの協力のおかげです。

少林寺拳法の本部がある四国香川県から約15名で2回も駆けつけてくれました。



香川県多度津町のライオンズさんの うな井

東北大震災の発生当時、私は多度津ライオンズクラブの会長をしておりました。マスコミの報道によって、その被害の実態が分かってくると、ライオンズとして何ができるのか検討をはじめました。

すぐに日本赤十字社を通じて義援金を送りましたが、あるメンバーから、義援金だけではなく、現地でボランティア活動をして、被災した方々を元気づけたいという意見がでました。そこで、多度津ライオンズクラブのメンバーでもある町長や商工会議所の会頭をはじめ、有志が発起人となり、「かがわ多度津ささえ愛隊」を結成しました。

初期の報道で、被災した方々は食事をほとんど執っていないか、あっても菓子パンやおにぎりなど、空腹を満たすだけの粗末な食事しか摂っていないことが分かりました。皆さんに何か美味しいものを食べてもらおうと、いろいろ考えた結果、お刺身がたっぷりのった海鮮丼の炊き出しをすることになりました。(2回目は鰻丼)

有志一同が協力金を募り、資金を何とか確保し、物資や食材を用意したものの、さて実際に、どうやって活動すればいいのかが分かりません。多度津町に本部があります少林寺拳法さんが、いち早く、東北でボランティア活動を展開しているのを知り、相談をしました。そして、紹介していただいたのが鎌田さんでした。活動の拠点としての受け入れを、快く承諾していただき、十数人が宿泊させていただきました。

その協力によって、今回のボランテ

ィア活動が実現したと言っても過言ではありません。

2回にわたる活動で実施できたのは、のべ 11カ所の避難所や仮設住宅、在宅の方々のコミュニティへの約 4,500 食の炊き出しと、シーツ、タオル、歯ブラシなど救援物資の提供です。

国による復興対策が遅々として進まない中、私たち以外にも、大勢のボランティアを受け入れ、バックアップしている鎌田さんのような人こそが、復興をささえているのだと実感しています。これからも、鎌田さんのお力を借りて、3回目、4回目と活動を続けていきたいと思ひます。

結びに、奥様のお心遣いにも心から感謝を申し上げます。

奥様の作ってくれたニラと玉子のお味噌汁の味は、一生忘れることができないでしょう。

かがわ多度津ささえ愛隊 隊長

(多度津ライオンズクラブ 前会長) 新田正徳

塩竈に拠点があるから活動が出来る

少林寺拳法の本部職員でボランティアを担当している方からのメールです。

「金銭」から「琴線」へ

3. 11 東日本大震災は、これまでに日本人が経験したことのない災害になりました。人命はもとより、財産も、社会的機能も失いました。この未曾有の災厄に、直後から行動した方々がいました。物資を、労力を、金銭をと、それぞれにできること



塩竈 中の島公園でのボランティア活動

から行動したのです。

私が所属する少林寺拳法グループは、震災直後から部内に声をかけ、支援物資や義援金、そしてボランティアの募集を行いました。3月末からは、被災地にある道場の提供を受け、ここを寝泊まりの拠点としたボランティア活動を、災害ボランティアセンターのもとで行ってきました。鎌田先生に提供して頂いたように、道場拠点等には、北は北海道、南は沖縄からと全国各地から、1000名を越えるボランティアが参集しました。

半年が過ぎようとしている今、思うことがあります。それは最悪の禍の中で我々が突き詰められたのは、「拝金」と言われる現代の風潮から生まれた金銭や物質ではなく、人と人とのつながり、人間社会にとって根底問題である「絆」の在りだっただけではないか、そしてその思いをどう表したか、つまり具体的な行動は何かということです。

国家的な動きが鈍く、復旧・復興が儘ならない中、庶民が隣人のため、地域のために活動することがますます必要になって来ると予想されます。世界の経済ばかりではなく、安全・安心までもが心配になりつつある社会が、今後、さらに坂を転げ落ちて行かないとも限りません。その時こそ、庶民がそれぞれの心の琴線に従い、連帯し援け合うことになるのではないのでしょうか。現代社会にはびこる「金銭」主義から、人それぞれの心の「琴線」に触れる思いをもとにした行動へと、意識と行動の変化が求められていると実感しています。

向田弘之
／少林寺拳
法グループ

勝手にボラ ンティア隊

三重県か
ら何度も大
勢でボラン
ティアに
来てくれ
ました。塩
竈の仮設
住宅で万
古焼の配
布、風鈴
の配布な
どをして
いただき
ました。



仮設住宅に配布した万古焼風鈴

先日はたいへんお忙しい中、ボランティアに参加した私たちのために、お世話をいただきほんとうにありがとうございました。

前回も16名のメンバーがお邪魔しましたが、いやな顔ひとつせず対応していただきました。今回も前回同様、親切な対応で私たちを迎えていただき、とても助かりました。ほんとうにありがとうございました。

宿泊所の提供だけでもとても有り難いと思っておりますが、鎌田先生と奥様の、心のこもったおもてなしが、私たちの栄養剤となっていることは、ボランティアに参加した人なら、誰もが感じていることでしょう。

鎌田先生におかれましては、ご自身も被災者であるにもかかわらず、さらに困っている人たちのためにご尽力されている姿勢には頭が下がる思

いです。『いざという時に役に立つ人間になれ』という少林寺拳法の教えを、身をもって実践されており、まさに地域に根ざした幸福運動の指導者という感じです。

完全復興にはまだまだ年月がかかると思いますが、鎌田先生が活動されている限り、私たちも頑張って支援していきたいと思えます。どうかご自愛の上ご活躍されますようお祈り申し上げます。

三重県三重郡菟野町
少林寺拳法道院長 中山文夫



少林寺拳法三重県連盟の塩竈市伊保石仮設住宅での万古焼配